

AvePoint

Governance Automation 2

リリースノート



SP2 CU1

リリース日: 2018 年 7 月 26 日

新機能と強化点

- **Office 365 グループ / チームの作成** サービス > **Governance Automation アプリおよびアプリ パーツ** に、Cloud Governance パネル アプリ パーツが Office 365 グループ チーム サイトに自動追加される設定が追加されました。また、**設定 > SharePoint > Governance Automation アプリ パーツ管理** に **Cloud Governance パネル** タイルが追加されました。
この変更により、Cloud Governance パネル (SharePoint Online サイト コレクション / Office 365 グループ チーム サイトに追加できるパネル) に表示される情報を IT 管理者が選択することが可能になりました。
- **サイト ガバナンス パネル** が **Cloud Governance パネル** に名称変更されました。また、クラシック サイト コレクション テンプレートを使用して、Cloud Governance パネルを SharePoint Online サイト コレクションに追加することが可能になりました。
- **Office 365 グループ / チーム設定の変更** サービスに **Microsoft Teams** フィールドが追加されました。ビジネス ユーザーに対して Microsoft Teams 機能を使用した既存の Office 365 グループの強化を許可するかどうかを IT 管理者が選択することが可能になりました。
- **Office 365 グループ / チームの作成** サービスに **Microsoft Teams** フィールドが追加されました。このサービス要求経由で作成されるグループに対して **Microsoft Teams** 機能を有効にするか、ビジネス ユーザーに対して要求フォームでこの設定の構成を許可するかを IT 管理者が選択することが可能になりました。
- **設定 > 要求の管理 > 洗い替えプロフィールの管理** で、Office 365 グループ チーム サイトに対するメタデータの洗い替えを実行することが可能になりました。これにより、Office 365 グループ チーム サイトのメタデータを定期的にレビューすることが可能になりました。
- **サイト コレクションの作成** サービス > **サイト コレクション テンプレート** の **グループ作業、エンタープライズ、発行** タブ内のテンプレートは、Microsoft API から収集されます。サイト コレクション テンプレート API が更新され、**発行** カテゴリに **コミュニケーション サイト** テンプレートが含まれるようになりました。このテンプレートは **コミュニケーション** タブ内のテンプレートと競合しているため、Governance Automation 2 SP2 CU1 では、**発行** カテゴリ内の **コミュニケーション サイト** テンプレートが隠されています。お使いのテナントでビジネス ユーザーによるコミュニケーション サイトの作成が許可されている場合は、**コミュニケーション** タブ内のテンプレートを使用してください。

Governance Automation 2 SP2 またはそれ以前のバージョンを使用している場合、**発行** タブ内の **コミュニケーション サイト** テンプレートが表示されますが、Microsoft API の制限のため、この **コミュニケーション サイト** テンプレートを適用したサイト コレクションは正常に作成できません。このため、**コミュニケーション** タブ内のテンプレートを使用することを推奨します。

また、Governance Automation インスタンスを更新する場合、まず **サイト コレクションの作成** サービスのテンプレート範囲を確認することを推奨します。**サイト コレクションの作成** サービスに **発行** カテゴリ内の **コミュニケーション サイト** テンプレートが含まれている場合、このテンプレートを選択解除して **コミュニケーション** タブ内のテンプレートを選択してください。

- **個人用登録済みサイト** がサービス範囲となっている **サイト コレクションの作成** サービス > **Governance Automation アプリとアプリ パーツ** で、**Cloud Governance パネル** が推奨項目としてアプリ パーツ リストのトップに移動されました。
- **設定** > **Governance Automation アプリ パーツ管理** の **Cloud Governance パネルの管理** で、SharePoint Online サイト コレクションおよび Office 365 グループ用のパネル管理設定を構成することが可能になりました。
- **Office 365 グループ ポリシー** に **Office 365 グループ チーム サイト クォータしきい値** 設定が追加されました。Office 365 グループ チーム サイトの記憶域が構成されたクォータの指定した割合に達すると、グループ所有者に通知メールが送信されます。

既知の問題

- **既存オブジェクトのインポート** を使用して Office 365 グループをインポートし、エクスポートされた Office 365 グループ テンプレート ファイルでグループのメタデータ値を定義します。グループが Governance Automation に正常にインポートされた後、**Office 365 グループ レポート** を表示すると、新規インポートされたグループのメタデータ値が紛失する可能性があります。

原因: Office 365 グループ レポートには、メタデータのキャッシュが存在します。メタデータ キャッシュは最後に Office 365 グループ レポートにアクセスしてから 1 時間継続します。値が存在しないメタデータはグループに適用されていないものであるため、キャッシュに存在しません。

対処法: 1 時間後に Office 365 グループ レポートを再度表示するか、**Governance Automation アプリケーション プール** を手動で再起動します。

- Internet Explorer 11 と Google Chrome をそれぞれ使用して Governance Automation Web パーツにアクセスし、**設定 > システム > アプリ管理** でアプリ プロファイルを作成します。アプリ プロファイルを保存すると、Internet Explorer はエラー メッセージ **このコンテンツはフレーム内で表示できません** を表示し、Google Chrome は空白のページを表示します。

対処法: Governance Automation Web サイト > **設定 > システム > アプリ管理** の順に移動して、アプリ プロファイルを作成します。

- **既存オブジェクトのインポート** 経由で Office 365 グループをエクスポートし、エクスポートされたレポートでユーザーの表示名 **A** をグループのメイン連絡先として入力し、ユーザーのログイン名 **A1** をグループのサブ連絡先として入力します。その後、Office 365 グループを Governance Automation にインポートすると、Office 365 グループが正常にインポートできず、エラー メッセージ **メイン連絡先とサブ連絡先に同じアドレスを指定することはできません。別の連絡先を入力してください。** が表示されます。

原因: Office 365 グループが Governance Automation にインポートされる際に、Governance Automation は指定のユーザーに対してあいまい検索を実行するため、2 名のユーザーが同一ユーザーとして誤認識されます。

対処法: エクスポートされたレポートでユーザーのログイン名を入力し、異なるユーザーを区別します。

- 移動元 Governance Automation 環境で、SharePoint ライブラリ / リストから参照している **参照** メタデータを作成して、構成データを移動元環境からエクスポートします。移動先 Governance Automation 環境で、**設定 > 構成データのエクスポートおよびインポート > インポート モード >**

マッピングに移動し、構成ファイルを参照して **[データの取得]** をクリックすると、**参照** メタデータのデータソースであるライブラリ / リストのマッピングが **マッピング** フィールドに表示されません。

原因: **構成データのエクスポートおよびインポート** 機能は、リストレベルのマッピングには対応していません。

対処法: 移動先 Governance Automation の **設定 > 要求の管理 > メタデータの管理** に移動して、インポートされた **参照** メタデータ (SharePoint ライブラリ / リストから参照している) を検索・編集します。**列の追加設定** フィールド > **データソースタイプ** > **SharePoint ライブラリ / リスト** で、移動先ファームを選択し、ライブラリ / リストの URL を入力するかツリーからを選択して、**SharePoint ライブラリ / リストプロパティから値を取得する** ドロップダウン リストから値を選択します。

- SharePoint Online ライブラリで **リンクのコピー** 機能を使用し、フォルダーまたはファイルのリンクを取得してコピーし、**権限の管理** サービス要求の範囲に貼り付けると、URL が無効として認証されます。

原因: Governance Automation は、**リンクのコピー** 機能経由でコピーされた URL を解析することはできません。

対処法: **手動で URL を入力する** 方法を使用せず、ツリーからフォルダーまたはファイルを選択します。

- SharePoint でグループに対して **閲覧のみ** 権限を割り当て、Governance Automation Web API 経由で作成された **権限の管理** サービスでグループに対して **閲覧** 権限を割り当てます。ビジネスユーザーがこのサービス要求を送信すると、タスクが生成されます。このタスクが承認者によって承認されると、要求の **詳細の表示** ページおよび SharePoint には **閲覧** 権限のみが表示されます。

原因: SharePoint API 制限のため、Governance Automation Web API はこのグループに既に割り当てられた権限を取得することができません。これらの権限は、Governance Automation Web API 経由で割り当てられる権限に上書きされます。

対処法: IT 管理者が **権限の管理** サービスを構成する際に、グループに既に割り当てられたすべての権限、および割り当てる権限を入力します。

- **サイトの作成** サービスの範囲で、異なる SharePoint Online 管理センターに所属する複数のサイトコレクションを選択して、**サイトの権限** フィールドでユーザーをグループに追加します。同一名を使用しているユーザーがすべての管理センターに存在する場合、ユーザー選択ウィンドウを使用してユーザーを確認すると、このユーザーが 1 件の管理センター内のみ表示されます。

対処法: 各 **サイトの作成** サービスの範囲で同一の SharePoint Online 管理センターに所属する サイト コレクションを選択することを推奨します。

- AvePoint 更新マネージャーを使用して Governance Automation SP5 CU2 を SP6 に更新すると、**DocAve_Governance_Automation_1.0_SP6.zip** 更新のインストールが失敗します。

原因: この問題は Governance Automation SP5 CU2 の問題に起因しており、SP6 で修正されました。今後 AvePoint 更新マネージャーを使用して Governance Automation SP6 をこれ以上のバージョンに更新する場合は、この問題は発生しません。

対処法: **DocAve_Governance_Automation_1.0_SP6.zip** 更新を再度インストールします。

- サイト コレクションに対し、サイト コレクションのリース期間およびリースの延長を有効にし、サイト コレクションのリース延長しきい値も構成されているポリシーを適用します。ビジネス ユーザーが AvePoint Governance Automation アプリ パーツ (**要求の開始**、**サイト情報カード**、**Cloud Governance パネル**) で **サイト コレクションのライフサイクル管理** - リースの延長サービス要求を開始してこのサイト コレクションのリースを延長する際に、延長するサイト コレクション リースがリース延長しきい値を超過する場合、ユーザーが要求を送信すると、ページが **処理中** 状態のまま保持されます。

対処法: Governance Automation Web サイトで **サイト コレクションのライフサイクル管理** - リースの延長サービス要求を送信します。

- サイト コレクションに対し、サイト コレクションのリース期間およびリースの延長が有効になっているポリシーを適用し、このサイト コレクションを作成した **サイト コレクションの作成** サービスでサイト コレクションのリース期間も有効にします。ビジネス ユーザーが AvePoint Governance Automation アプリ パーツ (**要求の開始**、**サイト情報カード**、**Cloud Governance パネル**) で **サイト コレクションのライフサイクル管理** - リースの延長サービス要求を開始し、このサイト コレクションのリースを延長します。ユーザーが要求を送信すると、ページが **処理中** 状態のまま保持されます。

ユーザーが Governance Automation Web サイトに移動してこのサイト コレクションに対する同一内容の要求を送信すると、要求が正常に送信されます。

ユーザーがアプリ パーツに戻って要求を再度送信すると、要求も正常に送信されますが、サイト コレクションのリースが正常に延長されず、要求の詳細に延長されたリースの値が表示されない可能性があります。

対処法: Governance Automation Web サイトで **サイト コレクションのライフサイクル管理** - リースの延長サービス要求を送信します。

- **個人用 Office 365 グループ、個人用サイト、パブリック サイト コレクション ディレクトリ アプリ** パーツのいずれかが挿入されたサイトに移動します。上記のレポートに表示されているレコードが一部のみである場合、列の管理アイコンをクリックし、**[はい]** をクリックして **[OK]** をクリックすると、検索ボックスの場所が変更されません。すべてのレコードが上記のレポートに表示されている場合、列の管理アイコンをクリックし、一部の列を選択解除して **[OK]** をクリックすると、検索ボックスの場所は変更されず、レポートに空白スペースが表示されます。

対処法: 現在のページを更新します。

- **既存オブジェクトのインポート > エクスポート モード** でエクスポート先を構成し、エクスポート プランに適用します。エクスポート先で指定したパスワードが失効した場合、このプランに対してエクスポート アクションを実行すると、以下のメッセージが表示されます：

このエクスポート先が使用できません。エクスポート プランで選択したエクスポート先を確認し、エクスポート先 (UNC パス / ユーザー名 / パスワードを含む) が有効であることを確認してください。 エクスポート先を編集し、最新パスワードに変更します。プランに対してエクスポート アクションを再実行します。同一のメッセージが表示されます。

原因: この問題は Windows セキュリティ トークンのキャッシュに起因します。

対処法: エクスポート先の編集後で 6 分待機し、エクスポート アクションを再実行します。

- **サイト コレクションの作成 サービス > サイト コレクション テンプレート** で、**コラボレーション グループ** の下に **チーム サイト** を選択し、サービスを保存します。その後、サービスを編集し、**エンタープライズ グループ** の下に **ドキュメント センター** を選択すると、本来であれば **サイト コレクション権限** フィールドで、**ドキュメント センター** タブの下に既定のグループが 7 件表示されるどころ、3 件のみ表示されるというエラーが発生します。

対処法: **サイト コレクション権限** フィールドで **[すべてリセット]** をクリックすると、サイト コレクション テンプレートを再度選択することができます。

- SharePoint サイト コレクションおよびサイトにアプリ パーツを手動で追加し、このアプリ パーツを適用したサイト コレクションおよびサイトを Governance Automation にインポートすると、サイト コレクションおよびサイトは正常にインポートされますが、アプリ パーツは SharePoint サイト コレクションおよびサイトに繰り返し追加されてしまうというエラーが発生します。

原因: これは、Microsoft SharePoint API の制限に起因します。

- **ライブラリ / リストの作成 サービス > 範囲** で、ドロップダウン リストから **個人用登録済みサイト** を選択します。発行済みのサイト コレクションでリストを作成し、ファイルをリストにアップロードした後、リストをテンプレートとして保存します。**ライブラリ / リストの作成** サービスの **ライブラリ / リストのテンプレ**

レポート フィールドで、新規保存されたリスト テンプレートを選択し、サービスを保存してアクティブ化します。その後、ビジネス ユーザーがこのサービス経由で要求を送信し、承認者が生成されたタスクを承認した後、ログイン ユーザーが生成されたリスト URL をクリックしても、新しく作成された SharePoint リストにコンテンツが含まれていません。

原因: これは、Microsoft SharePoint API の制限に起因します。

- K2 Studio で、K2 Workflow 名を編集し、K2 Workflow を排除し、K2 Workflow のプロジェクトを削除します。その後、Governance Automation **承認プロセス管理** に移動すると、使用可能なワークフローが表示されますが、編集したワークフロー名は変更されず、排除されたワークフローおよび削除したプロジェクトのワークフローが読み込まれるというエラーが発生します。

原因: これは、K2 の制限に起因します。

- Governance Automation アプリを SharePoint へ展開します。このとき、Web アプリケーションには Azure Access Control Service (ACS) が構成されています。この状態で、Web アプリケーションのサイトにアクセスし、Governance Automation アプリをこのサイトに追加しようとしても、正常に追加できません。

対処法: Azure ACS の接続を Web アプリケーションから除外します。これにより、Governance Automation アプリをサイトに追加することができるようになります。

- **設定 > SharePoint アクセス許可レベルの管理** で、SharePoint アクセス許可レベルを選択してリボン上で **[編集]** をクリックします。**権限** フィールドで、権限を編集してアクセス許可レベルを変更し、**[保存]** をクリックして保存します。その後、**サイト コレクションの作成 サービス・サイトの作成 サービス > サイト コレクションの権限・サイトの権限** で、ユーザーへの権限の付与またはセキュリティ グループの権限の編集を実行する際に、変更済みの SharePoint アクセス許可レベルを選択します。ここで、ビジネス ユーザーが **サイト コレクションの作成 サービス・サイトの作成 サービス** のいずれかを經由で要求を開始しても、新規に作成されたサイト コレクションまたはサイトに適用される変更済みの SharePoint アクセス許可レベルは変化しません。
- DocAve 6 SP5 CU1 または SnapManager 8.2 for SharePoint と合わせて Governance Automation SP5 CU2 を使用する場合、スケジュール設定したストレージ マネージャー プロファイルを適用してサイト コレクション ポリシーを作成し、サイト コレクション作成サービスにこのポリシーを適用すると、このサービスの要求を送信後にエラー タスクが生成されます。

この問題が発生するバージョンは、Governance Automation SP5 CU2 のみです。

- Google Chrome を使用して Governance Automation にアクセスし、**サービス管理** 画面に移動します。この時サービスを 25 件以上選択して、**印刷プレビュー** をクリックすると、ブラウザーのポップ

アップ ウィンドウが表示され、ページの応答がないというメッセージが現れます。その後ポップアップ ウィンドウがフリーズし、印刷ページが表示されます。

- 外部ワークフローを使用して承認プロセスを作成し、この承認プロセスを適用してサービスの要求を送信する際に、ここで生成されたタスクにコメントを付けて外部ワークフロー内で承認または却下し、Governance Automation インターフェイスに戻ってこのタスクを表示してもコメントが表示されず、また要求の却下および承認を通知するメールでもコメント参照に実際のコメントが反映されません。
- この問題は SQL Server 2012 にのみ発生します。複数の要求を送信し、SQL Server (MSSQLSERVER) サービスを再起動します。ここでさらに追加で要求を送信し、この要求の ID を表示すると、要求 ID が正しく反映されません。例えば、サービス再起動前の要求の ID が 1、2、3 の場合、サービス再起動後の要求 ID が 1003、1004、1005 という形になります。

対処法: SQL Server 構成マネージャーに移動します。SQL Server インスタンスを右クリックし、**[プロパティ]** を選択します。**[スタートアップ パラメーター]** タブをクリックし、**起動時のパラメーターの指定** テキスト ボックスに **-t272** と入力し、**[追加]** をクリックします。**[適用]** をクリックして構成を適用し、SQL Server 2012 インスタンスを再起動します。

- この問題は SQL Server 2012 にのみ発生します。Governance Automation で障害復元を構成します。Governance Automation 構成データベースが SQL Server 2012 にある状態で、本番ファームから障害復元用ファームに切り替えを行います。その後両環境で複数の要求を送信し、**個人用要求 > 送信済み要求** で要求の ID を表示すると、要求 ID が正しく反映されません。例えば、本番環境で送信された要求の ID が 1 の場合、障害復元用環境で送信された要求 ID は 1001 という形になります。

対処法: SQL Server 構成マネージャーに移動します。SQL Server インスタンスを右クリックし、**[プロパティ]** を選択します。**[スタートアップ パラメーター]** タブをクリックし、**起動時のパラメーターの指定** テキスト ボックスに **-t272** と入力し、**[追加]** をクリックします。**[適用]** をクリックして構成を適用し、SQL Server 2012 インスタンスを再起動します。

- **既存のサイト コレクションおよびサイトのインポート** 機能を使用して、サイト コレクションをインポートします。代替アクセス マッピング (AAM) URL や拡張ゾーン URL など既定でないゾーン形式にサイト コレクション URL を入力し、コンテンツ移行要求を開始します。このとき、インポートしたサイト コレクションは移行先ノードのマッピングに含まれますが、移行先環境での登録状態は **未登録** のままです。この状態で要求を送信するとエラー タスクが生成され、エラー メッセージ(パブリック サイト コレクション ディレクトリへの移行先サイト コレクションの追加に失敗しました。)が表示されます。

- Governance Automation SP6 を、DocAve 6 SP5 CU1 と合わせて使用する場合、DocAve 6 SharePoint 移行で移行データベースが構成されていても、コンテンツ移行サービスで移行データベースの設定が使用できません。
- Internet Explorer 8 または 9 を使用して Governance Automation Web パーツにアクセスすると、Web パーツ上でサービスを作成し、**メタデータ** フィールドで新しいメタデータを作成する際に、**メタデータの作成** ウィンドウで **列の追加設定** フィールドが正常に表示されず、ボタンはテキストとして表示されます。
- 権限のクローンまたは転送要求を開始し、ツリーから SharePoint Online ノードを選択します。権限オプションとして **置き換える** を選択し、元のユーザーの権限に置き換える前に置き換え対象ユーザーの権限を削除します。この場合、置き換え対象ユーザーが SharePoint Online グループに所属していると、SharePoint Online グループに対する対象ユーザーの権限は置き換え処理後もそのまま残ります。

対処法: DocAve の **コントロール パネル > 登録済み SharePoint サイト** で SharePoint Online サイト コレクションを登録する際に、登録済みサイト コレクションに対してフル コントロール権限およびサイト コレクション管理権限を持つサイト コレクション ユーザーを入力します。

- **既存のサイト コレクションおよびサイトのインポート** 機能を使用してサイト コレクションおよびサイトをインポートしようとする、エラー ページが表示されます。

対処法: DocAve マネージャー > **コントロール パネル > セキュリティ設定** に移動し、ユーザー セッションの最大数を増やします。

- コンテンツ移行サービスに、マッピングを追加します。Web アプリを移動元範囲、SharePoint Online 管理センターを移動先範囲として設定し、このサービスの要求を開始します。マッピング セクションで、カスタム管理パスを使用するサイト コレクションを複数選択します。これらのサイト コレクションを、SharePoint Online に移行する要求を送信します。要求の承認後、エラー タスクが生成され、以下のメッセージが表示されます。「移行先サイト コレクションの作成に失敗しました。」SharePoint Online でサイト コレクションを作成する際に、管理パスをカスタマイズすることはできません。管理センターが移動元範囲として選択された場合、Governance Automation は移動元カスタム管理パスを処理することができません。

対処法: コンテンツ移行サービスのマッピングを構成する際に、移行元ノードから管理パスを選択します。移行元カスタム管理パスが、選択された管理パスにマッピングされます。

- Google Chrome をブラウザとして使用し、ADFS 認証を使用して Governance Automation にアクセスを試行する際、ユーザー名とパスワードを入力し、**[ログイン]** をクリックしても、ログイン イ

インターフェイスから画面が切り替わりません。これは、ブラウザーに証明書エラーが発生し、送信リクエストが送信されなくなることに起因します。

対処法: 使用する環境で証明書が信頼することにより、このエラーの発生は回避できます。

- 既存のサイト コレクションおよびサイトのインポート 機能を使用し、大量のサイト コレクションやサイトをインポートすると、途中でインポート ジョブが停止し全てのサイトをインポートすることができません。

対処法: IIS マネージャーに移動し、Governance Automation のアプリケーション プールを指定します。右クリックして **[リサイクル中]** を選択します。**アプリケーション プールのリサイクル設定の編集** 画面で、**定期的な間隔 (分)** チェックボックスの選択を外します。

- 承認プロセスで、**外部ワークフローと統合** を選択し、SharePoint Designer ワークフローを選択します。承認プロセスを保存し、アクティブ化します。サービスを作成し、作成した承認プロセスを適用します。SharePoint Designer に移動し、承認プロセスで選択したワークフローを編集して、ワークフローを発行します。その後、このサービスに基づいた要求を送信すると、エラー タスクが生成されます。

対処法: 要求を送信する前に、承認プロセスを編集して、修正した SharePoint Designer ワークフローを再度選択します。

- Internet Explorer 10 を使用して Governance Automation にアクセスします。サイト コレクション ポリシーを作成し、サイト ポリシー バーを有効化します。ここでポリシー アイコンの画像を表示すると、**Web ページ エラー** ウィンドウが表示され、エラー メッセージ「**アクセスが拒否されました**」が表示されます。

原因: これは、Internet Explorer のセキュリティ制限に起因します。

対処法: **インターネット オプション > セキュリティ** に移動します。**信頼済みサイト** をクリックして **サイト** ボタンをクリックし、Governance Automation の URL をゾーンに追加します。

- Google Chrome を使用して Governance Automation Web パーツがインストールされた SharePoint サイトにアクセスすると、Web パーツが表示されません。これは、信頼できる証明書が適用されていないことに起因します。

対処法: Google Chrome で、**設定 > 詳細設定を表示 > HTTPS/SSL** の順番に進みます。**証明書の管理** をクリックします。**証明書** ウィンドウで **インポート** をクリックし、エクスポートされた証明書をインポートします。**信頼されたルート証明機関** に証明書を保存してください。Web パーツの設定を構成する際、Governance Automation の URL が **https://<ホスト名>:<ポート>** の形式になっていることを確認してください。

- DocAve コントロール パネル > アップデート マネージャー に移動し、Governance Automation のバージョンを SP4 から SP5 へアップデートしようとする、アップデートの状態が 0% から変化せず、フリーズ状態となってしまいます。

原因: これは、Governance Automation タイマー サービスの問題によるものです。Governance Automation のアップデート時、Governance Automation タイマー サービスを停止する必要があります。しかし、Governance Automation SP4 では通常タイマー サービスが停止しないため、アップデートがフリーズ状態となってしまいます。

- 対応フォーム機能は、Internet Explorer 8 では使用することができません。
- サイト コレクションでリスト・ライブラリ・フォルダー・アイテムなどを作成し、権限の継承を解除して、サイト コレクションに対してサイト コレクション ポリシーを適用します。その後、このポリシーで権限の洗い替えを有効化し、権限洗い替えタスクでサイト コレクションからグループの権限を削除すると、サイト コレクション レベルのレコードはハイライト表示されますが、サイト コレクションのリスト・ライブラリ・フォルダー・アイテムはハイライト表示されません。

原因: これは、DocAve API の制限に起因します。Governance Automation では、どのデータが同じサイトに所属するのかわかす DocAve API が提供するデータから判別することができません。このため、サイト コレクション レベルのグループ権限を削除すると、Governance Automation はサイトに属するデータを判別できず、ハイライトできなくなります。

- コンテンツ移動サービスでセキュリティ トリミングがオンになっており、要求者が移動元サイトにアクセスする権限を持つものの、その中の移動元リストにアクセスする権限を持っていない場合、その移動元リストは要求が実行された段階で移動先のノードにコピーされます。セキュリティ チェックをアイテム レベルまで適用すると、パフォーマンスに問題が生じます。

対処法: コンテンツ移動 サービスで、**セキュリティをコピーする** を選択します。これにより、移動元のユーザー権限が移動先へコピーされ、要求者は移動先の子ノードへのアクセスができなくなります。

- 代替アクセス マッピング (AAM) URL は、サイト コレクションのコンテンツ移動サービス リクエストに対して無効です。これは、SharePoint Online の専用インスタンスが、代替アクセス マッピング URL のユーザー名とパスワードを取得できないためです。

対処法: 要求を送信する前に、DocAve にサイト コレクションの AMM URL を登録します。

- ライブラリ / リストを一括で要求する際、CSV ファイルに日本語でテンプレート名が入力され、その後 Governance Automation にインポートされると、Governance Automation のインターフェイスではインポートされたデータが表示されません。これは、CSV ファイルが ANSI を使用してエンコードされていることに起因します。

対処法: CSV ファイルをメモ帳で開き、文字コードとして Unicode を選択して保存します。

- Governance Automation SP2 で、サービスでカスタム アクションを有効化します。実行ファイルおよび PowerShell スクリプト ファイルを DocAve エージェント ディレクトリ (...¥Agent¥bin) に保存し、サービスの要求を作成、送信、承認すると、カスタム アクションに基づいて承認プロセスが正常に実行されます。このとき、新しいサービスの要求を作成、送信する際に Governance Automation を SP2 から SP3 へアップデートし、SP3 環境で要求を承認すると、エラー タスクが作成され、カスタム アクション ファイルが存在しないという警告が表示されます。ここで、実行ファイルおよび PowerShell スクリプト ファイルを ...¥Agent¥bin¥GovernanceAutomation にコピーし、エラー タスクを再度実行しても、エラーが消えずに発生し続けます。

原因: これは、実行ファイル名または PowerShell スクリプト ファイル名に文字と数字が含まれており、ファイル名の文字数が 4 の倍数の場合に発生します。また、Governance Automation SP2 で送信した要求では ...¥Agent¥bin¥GovernanceAutomation ディレクトリ内の実行ファイル名および Powershell スクリプト ファイル名を取得することができません。

- 個人用サイトの作成サービス: Governance Automation の表示言語がフランス語で、Governance Automation 使用環境のシステム言語がフランス語ではない言語に設定されている状態で、一括モードを有効化してサービス要求を作成します。テンプレートファイルを CSV 形式でダウンロードします。この CSV ファイルの中では、列の名前がフランス語で表示されません。また、この状態で必要な情報を入力し、テンプレート ファイルをアップロードして、アップロードしたテンプレート ファイルのチェック アイコンをクリックしても、ファイルが無効となります。

原因: これは、Governance Automation 使用環境のサーバーのシステム言語がフランス語でないことに起因します。

- このエラーは、Internet Explorer を使用して Governance Automation Web パーツにアクセスする際に発生することが確認されています。**対処法:** インターネット オプション > セキュリティ タブ > 信頼済みサイト へ移動し、Governance Automation の URL (例: https://10.2.4.43) を信頼済みサイトへ追加します。ポート番号の設定は不要です。

通知

この発行に含まれている資料は AvePoint, Inc に所有または提供され、AvePoint およびそのライセンス提供会社のプロパティであり、著作権、登録商標ならびに他の知的所有権に関する法律によって保護されています。本書に掲載する通知および著作権の情報のいかなる削除ならびに変更も禁じます。

著作権

Copyright© 2018 AvePoint Japan K.K. All rights reserved. 本書の著作権は AvePoint Japan 株式会社に帰属します。本書に掲載されている情報はすべて日本著作権法において保護されており、内容の無断複製、更新、転載を禁じます。本書のいかなる部分、いかなる書式および電子通信、機械的送信、複写、記録などのいかなる方法、あるいは AvePoint Japan 株式会社 (〒 108-0074 東京都港区高輪 4 丁目 10 - 18 京急第一ビル 11 階)、ならびに本書に掲載する情報がサードパーティに所有される場合サードパーティによる事前の文書による許諾なしに複製、保存、送信を禁じます。また上記の如何に関わらず、本発行物内の AvePoint 関連の情報 (派生物及び変化物を含む) の何人による複製及び転載も禁じます。また、如何なる複製物並びに転載物も自動的に AvePoint に属するものとし、該当者または継承者、担当者、相続者、恩恵者、実行者のいずれも該当複製物並びに転載物を直ちに AvePoint へ返却し、必要書類に署名することに同意するものとします。

登録商標

AvePoint[®]、DocAve[®]、AvePoint ロゴおよび AvePoint ピラミッド ロゴは AvePoint Japan 株式会社による日本特許庁登録済みの商標です。これらの登録商標および本書に使用されている他の商標はすべて AvePoint の専有プロパティであり、文書による許諾なしには使用できません。

Microsoft、MS-DOS、Internet Explorer、Office、Office 365、SharePoint、Windows PowerShell、SQL Server、Outlook、Windows Server、Active Directory、Dynamics CRM 2013 はマイクロソフト株式会社の商標または登録商標です。

Adobe Acrobat、および Acrobat Reader は Adobe Systems, Inc の商標です。

その他本書に掲載されている商標はすべて該当の所有者のプロパティであり、許諾なしに使用することを禁じます。

変更

本書は情報の提供のみを目的とし、通知なしに変更または更新される場合があります。当社では最新、そして正確な情報を提供するよう努力しておりますが、あらゆるコンテンツの誤りもしくは脱落に起因する間接的、派生的に生じた損害に対し、一切の責任を負わないものとします。当社は、ユーザーに対し予告、通知をすることなく AvePoint ソフトウェアのグラフィック ユーザー インターフェイスを変更する権利を所有しています。

V: 20180724_JP_01

AvePoint Japan 株式会社

〒 108-0074

東京都港区高輪 4 丁目 10-18

京急第一ビル 11 階